

青井記念館美術館

はぐくみ会だより

第 12 号

平成13年11月 1 日



所蔵作品紹介

(11)

「竹に蝸牛模様花瓶」

本 江 元 吉 作

特別展Ⅰ期展

「塩崎逸陵回顧展」

6月2日～7月29日



「屏風」「軸装」「額装」

など県内で保存されている七十五点余の作品を前期・後期に分けての展示に、訪れた二人余の人たちに多大の感銘を与えた展覧会でした。

新村弥三郎・石井吉次郎両先生から漆芸を学び明治三十五年本校を卒業後、東京美術学校で日本画を専攻した後中央画壇で活躍された。

また郷土を愛する思いが強く、高岡市内の各小学校に大作を寄贈されており本校にもまた在学中の下絵をはじめとして幾多の作品が残されている大先輩で昭和四十九年八十九歳逝去された。

第五回近代美術館移動展

作品に見る「赤と黒」

8月4日～9月10日

富山県公立美術館連絡会議のネットワーク事業の一環として、県立近代美術館との相互協力の下での展覧会で六十五点を展示しました。

近代美術館から岡本太郎をはじめ浜口陽三・山口長男・今井俊満・ジュジョ・ルオーなどの作品が、本校からは主として工芸品を中心に代谷松男・米林雄一・上野博之などの絵画・彫刻・ポスターなど多彩なジャンルから抽出し、「色」というエレメントが持つ役割や、魅力について紹介し、多数の鑑賞者の目を楽しませました。



「鳥(かもめ)凧」をつくる

8月21日～23日

今年も、林 兼二先生を講師に招き中学生・PTA・本校職員併せて十一名が「かもめ」に挑戦しました。中日に台風十一号接近のため休止となった関係で二日間の日程となり、受講者の皆さんは悪戦苦闘されたが林先生の良き指導のおかげで、グランドでの初揚げにまでこぎ付け、本物以上の迫力ある凧揚げに制作の苦労も忘れ作る喜びを噛みしめていた姿はほほえましく感じた教室でした。

美術教室



同窓生ギャラリー

開設以来二十回を終え、本年度は六回を予定しており既に三回を終えました。

二十一回展

「動物を描く」坂田三男 (昭和二十七年図案絵画科卒)

5月3日(木)～5月13日(日)

「黒豹」「虎」「下絵」など二十八点を展示、野生美あふれる美しさに訪れた人々の目を楽しませた展覧会でした。

二十二回展

「鑄造と絵画」の異色の組み合わせの二人展。

5月22日(火)～6月8日(金)

大野憲一(本校職員)は茶道具を主体に十二点、殖生一世(絵画)は桜町古墳の小矢部の人、縄文祭祀の八点・神々の宴(立体)一点の出版、形態の美しさ・マチエールの面白さが楽しめた展覧会でした。

二十三回展

高岡市美術連盟写真部の恒例の二十回展

6月17日(日)～7月1日(日)

寺腰先生(本校職員)も所属する二十名の連盟会員の感性豊かな力作が一堂に集った、見応えのある展覧会で多くのファン訪れました。

文化部合同展

7月11日(水)～7月29日(日)

今年で三十一回目を迎え日頃の活動の成果を展示発表した同展は、絵画・彫刻・木工・陶芸・写真・工業化科学そして茶道部が参加して行われ、会期中の一日、作品を前にしての茶会も珍しく、一服の抹茶にゆったりとした気持ちになったひとときもあつた合同展でした。



所蔵作品紹介(11) 表紙

「竹に蝸牛模様花瓶」

本江元吉

明治の初め頃に制作された花瓶には、「対」や「耳付き」といった作品が多く見られる。この花瓶もそれに属するもので、創校当時に生徒の教材として収集された中の一点であり、その頃の花瓶の加飾は「金」「銀」などの貴金属類で花鳥模様の象嵌が施されたものが多く残されているが、この花瓶は黒味銅という合金で象嵌され、恰も水墨画を思わせるような珍しい作品といえる。

また中国風の耳にポイントとして金象嵌を施すなど作者の卓越した技巧を伺い知ることができる。

作者は、高岡が生んだ名工の一人であるが詳しい資料が残っていない。

第4回工芸教職員美術展

9月16日(日)～10月2日(火)

機械が専門の校長先生・副校長先生の「初秋山水(山水画)・「朝」(パステル画)をはじめ、日本画・油絵・彫刻・焼き物・銅器・漆・写真そして鳥凧と多種にわたりますが工芸高校の先生と言わせる層の厚い総合展で一般の人は勿論生徒にも高い関心が持たれた出品44点の展覧会でした。

寄贈作品の紹介

ポスター



「Green Killer」

二枚シリーズ

(2001年フィンランド/ラハチポスタービ
エンナーレ環境部門最高賞)

制作 上野 博之 (1964・デザイン科卒業
1998年ブルガリア/国際ステージポスター
トリエンナーレ・ソフィア入選
平成十三年五月十五日受寄贈

催事案内

- ① 第八回青井中美展：十一月二十日(火)～十二月五日(水)
県内中学生より公募による美術展覧会
- ② 特別展Ⅱ：十二月十五日(土)～H・十四・四月七日(日)
本校草創期の参考品を中心に「高岡漆器展」
- ③ 常設展Ⅱ：本校収蔵品の展示 本校草創期の名作品展Ⅱ
同窓生ギャラリー：十二月二十三日(日)～一月十三日(日)
- ④ 卒業制作展：三月九日(土)～四月七日(日)
工芸・デザイン科の優秀卒業制作展

編集後記

* 21世紀の出だしは、異常気象・テロの
ビル爆破など不安材料が一杯の様相。
* 常設Ⅰ期の草創期の名作展の鑑賞者の
中には、何度見ても飽きがないとい
うお客さんもかなりあり、より地域に開か
れた愛される美術館を目指し作品の選定
に配慮してゆきたい。

はぐくみ会会員 募集のお知らせ

はぐくみ会では会員を募集しています。
申し込まれた日から一年間会員となります。
主な活動

- 1 青井記念館美術館への協力・支援
- 2 中学生美術展(青井中美展)への支援

- 特 典
- 1 企画展等の案内
 - 2 はぐくみ会だよりの配布

年会費

一般会員(個人) 二、〇〇〇円
特別会員(企業、団体等) 一〇、〇〇〇円
お問い合わせ・申し込み先
青井記念館美術館はぐくみ会事務局

編集発行

富山県立高岡工芸高等学校
青井記念館美術館はぐくみ会
住 所 333-8518 高岡市中川一丁目二〇
TEL(0766)21-1630(内線85)
FAX(0766)21-1631

「ビデオライブラリー」のご案内

左記のテープがありますのでご来館の際にご利用下さい。

- 1、響きあう銅の色彩 般若 保 25分
- 2、吹分鑄造法講演Ⅰ・Ⅱ 般若 保 100分
- 3、越中人譚「畑 正吉」
- 4、極める梵鐘 香取正彦 26分
- 5、世界に響け平和の鐘 香取正彦 25分
- 6、私の履歴書 香取正彦 26分
- 7、奈良東大寺
- 8、西独より銅器・漆器の高岡へ 杉本建吉 20分
- 9、美の朝「斎藤明」
- 10、越中高岡匠の街
- 11、高岡銅器金工師 金森映井智 27分